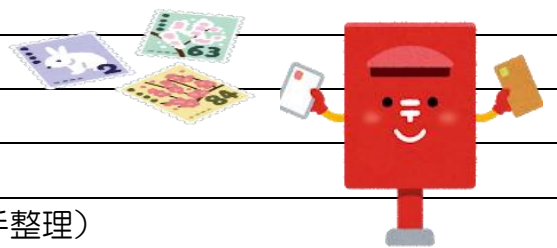


令和3年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	令和3年度夏休みボランティア体験プログラム ～古切手で社会貢献～
2	実施社会福祉協議会	鴻巣市社会福祉協議会
3	協力団体	手助けの会
4	活動年月日	令和3年7月29日
5	活動場所	鴻巣市総合福祉センター
6	内容	古切手整理（使用済み切手整理）



7	活動の様子	 コロナウイルス感染症の状況に配慮し、人との接触を協力減らした方法で実施可能なプログラムを検討し、今回は一定の距離を保ちつつ、静かに活動できる古切手整理体験を企画した。
---	-------	--

予定では体験日は3日間を予定していたが（日程 7/29・8/17・8/26）コロナの感染状況が拡大してきた為、8月の活動は自宅での体験に急遽変更とした。

《作業内容》古切手の回りを1cmぐらいいで切り取り、使用済み、未使用と分別してもらう。

◆7/29日総合センター◆

《体験の流れ》 ※参加者 合計11名

- 1.鴻巣市社会福祉協議会 地域福祉課課長よりあいさつ
- 2.ボランティア活動の紹介（DVD視聴）～手助けの会～
- 3.体験説明
- 4.体験開始（45分程度）
- 5.アンケートの記入
- 6.事務連絡/活動証明発行について・体験先の相談等

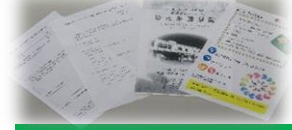


◆8/17・8/26日体験申込者は自宅での体験に変更◆ ※参加者 合計24名

提出期限を8月いっぱいとし、完成品・DVDを社協に返却、確認が出来次第、ボランティア証明希望者には後日ボランティア活動証明書を発行した。



手助けの会 活動DVD

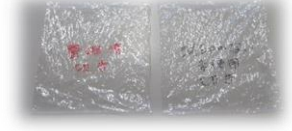


アンケート・書類一式

8/17・8/26日申込みの参加者へ
体験セットをレターパックで郵送



古切手



仕分け済み切手分類袋

＜参加者の感想＞ ※一部抜粋して記載

- ・古切手整理をするだけで社会貢献につながるとはおもわなかった。（中2男子）
- ・見ず知らずの誰かの為に頑張れた。このような体験は人生の中で大切だと思った。（中1男子）
- ・古切手の中にもいろいろな形や柄がある事を知った。地味な作業だけど案外楽しく体験できた。（高1女子）
- ・古切手が盲目の老人ホームの運営に役立っている事を初めて知った。実際に整理をしていると見たことの無い珍しい切手が沢山あり、これらが切手コレクターの方に高く買い取ってもらえるといいなと思った。（中1男子）
- ・古切手の整理をしている時に沢山の絵柄、綺麗なもの、普段見慣れないものがありそれらを見つけるのが楽しくて飽きずに取り組むことが出来た。（高3女子）